

むこせ慎一と日本共産党の4つの提案

共同の力で社会を変える
日本共産党

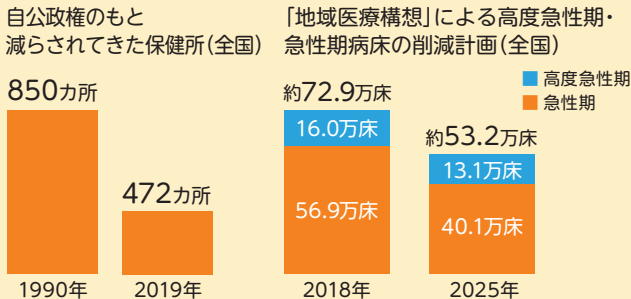
チェンジ1

自己責任押し付け政治終わらせ、命と暮らし何より大切に

ケア労働を支え、いのちを守る

医療崩壊は、医療費を削り、保健所を減らしてきた結果です。公的医療を守り、病床と医療スタッフ確保で、いのちが守られる医療・保健所体制をつくります。

- 高齢者の医療負担増中止
- 病床の削減計画を白紙撤回
- 医療・介護・障がい福祉・保育などケア労働者の待遇改善



暮らし・家計応援で経済立て直す

コロナで打撃を受けた中小企業を支援し、賃上げと社会保障の拡充で家計を潤し、消費をふやして経済を立て直します。

- 大企業と富裕層に応分の負担を求め、消費税を5%に減税
- 中小企業への賃上げ支援予算1千倍で最低賃金1500円に
- 緊急の米価暴落対策の実施で農業を守る
- 大学の学費半減、返済なしの給付型奨学金制度

チェンジ2

STOP気候危機！ 2030年までにCO2を60%削減

自公政権のCO2削減目標42%はホンキ度ゼロ。石炭火力や原発にしがみつきの口先だけです。島根原発の再稼働は中止し、脱炭素、省エネ・再エネで雇用を年254万人増、GDPは205兆円増へ。

- 30年度までにCO2を最大60%削減
- 脱炭素・省エネ・再エネを進める社会システムの改革
- 島根原発の再稼働ストップ

チェンジ3

ジェンダー平等・多様性社会の実現

コロナ禍で56%が非正規の女性たちが真っ先に職を失いました。不平等をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会を実現します。

- 選択的夫婦別姓の実現
- ハラスメント禁止法の制定
- LGBT法の成立で「性的志向」による差別を禁止

チェンジ4

憲法9条をいかした平和外交を

日本をめぐる安全保障の問題は、軍事的解決ではなく、9条をいかした平和外交で。

- 核兵器禁止条約を批准し、核兵器のない世界の実現へ
- 「アメリカいなり」の外交姿勢から脱却
- 米軍機の無法な低空飛行訓練の中止を



中国四国防衛局に申し入れるむこせ候補(右端)ら

日本共産党と野党共同の力で
コロナ対策が前進

むこせ慎一



- 「日本在住のすべての人に一律10万円」を支給する特別定額給付金を実現
- 雇用調整助成金の上限額を月16.7万円から月33万円に引き上げ
- 家賃支援の枠組みをつくらせた
- PCR検査センターの設置など検査体制を一步一步拡充

比例代表は「**日本共産党**」政党名を書きます
小選挙区は「**候補者の名前**」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。